

# 校長室より

令和4年11月8日(火)

「許す心」



先日の修学旅行中、子どもたちが誤って宿泊ホテルの備品を傷めてしまうことが起きました。

担任の先生たちは、関わった子どもたちからしっかり話を聞いて事実確認をした後、全員でホテルに謝罪しました。

福井で留守番をしていた私は翌朝に一報を聞いたのですが、まず子どもたちにケガがなかったことに安堵し、すぐにホテルへ電話を入れました。私は内心…

「とにかく誠意を持って謝ろう」

「ホテルの人たちは怒っていないかな」

「来年から使わせてくれなかったらどうしよう」

とすごくビビっていました。

電話がつながると、私はとにかく言い訳をせず、丁寧に謝り続けました。そして、おそるおそる聞いたのです。

「来年以降も長畝小学校は使わせていただけますか。」

ホテルの人は優しく落ち着いた口調で答えてくれました。

「子どもさんたちはとても反省しています。長畝小学校さん、来年もぜひお越しください。」

あまりにも思いがけない言葉にとても感動しました。

私たちは時として、他人の失敗に対して、どうしてこんなことするの?などとネチネチ追求したり、理不尽な罰を与えたりしがちです。

「来年もぜひお越しください。」の裏には、「次からはがんばってね。」という許す心があるのだと思いました。改めて、「奈良町家 和鹿彩 別邸」様、このたびは誠に申し訳ありませんでした。来年もよろしく願いたします。